

朝日大学英語弁論大会、優勝！

【令和7年11月9日】



11月9日(日)に開催された朝日大学第41回高等学校英語弁論大会に、本校2年生のカンダド・アゼヤさんが出場し、全国から選ばれた21名の中で優勝

を果たしました。アゼヤさんは、今夏に行われた岐阜県高校生英語スピーチコンテストの地区大会にも、校内選考(13名中5名)を経て出場

し、県大会に進むことはできませんでしたが、その挑戦を糧に、同じ原稿を用いて本大会のコンテストに応募。全国から多くの応募が集まる中、本校から唯一選ばれ、出場権を得ました。全国大会では、北海道から沖縄まで、21名の代表が集まりました。どのスピーチも素晴らしい中で、審査員の心を動かしたのは、アゼヤさんの「体験を通して、これからどう生きていくのか」という前向きなメッセージ性と、それを支える力強く誠実なデリバリーでした。限られた時間の中で自主練習を重ねた努力の積み重ねが、今回の結果につながりました。ALTのローマン先生の指導をしっかりと理解し、自分の言葉として磨き上げていったことも大きな力と自信につながったと思います。芯の強い彼女の姿勢、「自分で行動し、自分で練習し、自分で挑戦する」という姿は、まさしく「TONO PRIDE」の体現そのものでした。アゼヤさんの挑戦と頑張りに敬意を示します。

これから挑戦を続けるすべての皆さんへ——
あなたの一歩が、必ず道を拓きます！

